



# いきいきふるさと

発行/古里住民自治協議会 発行者/小林 元志 編集/広報委員会 第76号

## 古里地区防災訓練を実施しました 安心安全部会

古里住民自治協議会・防災訓練を8月24日(土)に、自治協災害対策本部と各区自主防災会の災害対策本部、アマチュア無線クラブ、赤十字奉仕団等と連携して実施しました。






訓練は屋外での同報無線による各地域への放送訓練を行い、情報伝達では各区の現地災害対策本部と簡易無線機での情報交換を行うと共に、アマチュア無線クラブ「ネット古里」会員とで緊急情報や被害状況等の把握を行う訓練を行いました。

当日は本部長はじめ関係役員、市消防局柳原分署、古里支所、市消防団古里分団、赤十字奉仕団、ネット古里会員、各区関係役員の皆様方に参加していただき、緊迫した中でスムーズな情報交換が行われました。今年は地域の災害場所を特定して、被害状況を古里地区全図に落とし込み情報共有をしました。訓練とはいえ情報伝達の難しさ、重要性を改めて気づかされました。また、簡易無線機の取り扱いを再度確認し、古里市民センター内では救助ボート、避難所設営訓練、簡易トイレ設置などの、災害時に必要な実践的訓練を行いました。



結びに、いつ起こるのか判らない地震、異常気象等の自然災害の脅威にさらされている昨今、日頃から危機管理に対する意識はもとより、一人一人の災害に対する心構えを再認識して、非常用持ち出し品や避難所の場所、防災備蓄倉庫などを確認しておくことが最重要だと思えます。

「もしもの時」に備える **防災グッズ**

 リュック	 ヘルメット	 救急セット	 ラジオ	 乾電池
 軍手	 マスク	 飲料	 お金(現金)	 懐中電灯



## 各委員会の活動実績と予定 文化教育部会

令和6年度文化教育部会の活動は、青少年育成委員会が主催する、5月1日(水)東北中学校における下校時「あいさつ運動」からスタートしました。はじめは我々委員も生徒も気恥ずかしさから大きな声が出せず、どうなる事かと思いましたが、次第にお互いの声も響き合うようになり安心しました。年間8回の「あいさつ運動」を計画しています。

また7月25日(木)には同じく青少年育成委員会による更生施設「新潟少年学院」視察研修が行われ、家庭裁判所から保護処分として送致された少年等の健全な育成、矯正教育・社会復帰支援等の状況を視察し、社会復帰に取り組む子供らへの支援・力添えを考える機会を持ってました。

10月からは各委員会の事業が始まります。公民館活動委員会・育成会活動委員会は、安心安全部会「防災講演会」といっしょに、北レク「防災フェスティバル」に参加し、「マレットゴルフ&チャレンジ・ザゲームの集い」を開催します。さらに10月に開催月を変更した「古里地区親善球技大会」、12月には人権共生委員会による「古里地区人権住民集会」「各地区人権教育研修会」、1月2日(木)に「成人祝賀会」を開催し、さらに古里公民館主催事業も含めて3月まで活動してまいります。

皆様のご支援と積極的なご参加をお願い致します。



## ホタル観賞&勉強会を開催しました ふるさと部会

令和6年6月22日(土)午後7時30分から、北部スポーツ・レクリエーションパーク、北側田子川、土京川合流地点沿い「ホタル観賞&ホタル勉強会」を開催いたしました。当日は、小雨がパラつきましたが開催する事が出来ました。

夜間のイベントなので全員が安全を最優先に取り組みました。ホタル観賞の前には、村松聖夫先生からホタルの勉強会をして頂きました。

幼児から大人まで地区内外から約140名の皆様にお集まり頂き、班単位でホタルの鑑賞をはじめました。すぐには見つかりませんでしたが、「ホタルいたよ」との声の間こえる方に行くと、2・3匹が飛んでいました。田子川沿いを歩いて約20匹ほどの観察ができたと思います。初めてホタルが飛ぶところ見たと言う子どもの声も聴くことができました。僅かな数のホタルでしたが、子どもたちの嬉しそうな声が聞こえて良かったです。

村松聖夫先生、地元三才区、古里住民自治協議会事務局の方々のご協力で開催できました。皆様のご協力の賜物と感謝する次第です。



## 令和6年度「介護者のつどい講演会」 ～ヤングケアラー支援と地域の現況～ 福祉健康部会

令和6年8月3日(土)古里総合市民センター 多目的ホールにおいて開催いたしました。

ヤングケアラーにつきましては、以前から講演内容のアンケートの要望事項にありました。今回は日常的に家事や家族の介護等を行っている、ヤングケアラーについての講演を企画いたしました。

内容は以下の通りです。



### 講演1 「ヤングケアラー支援」

長野市子ども未来部子育て家庭福祉課 ヤングケアラーコーディネーター 江村安美様

### 講演2 「地域のヤングケアラー・介護の状況」

長野市地域包括支援センター富竹の里 社会福祉士 中澤明日香様

ヤングケアラーとは本来大人が担うとされている家事や家族の世話などを日常的に行っている子どもとされています。家族のケアは素晴らしいことですが、場合によっては多くの負担・責任が子供にのしかかり生活・健康・その後の人生にマイナスの影響が生じる可能性があります。

例えば、部活に入ったり友人と遊んだりできず、深い仲の良い友達ができない。自分の時間が取れずに学習に支障がでたり、睡眠不足になったり、落ち込んで情緒不安定になったりしがちです。

支援が必要な子どもたちに適切な支援ができるようにしたいものです。

長野市では、令和5年度よりコーディネーター2名を配置し、窓口等相談を受けつけています。そして状況により適切な支援に結び付けたいと考えています。

### 長野市ヤングケアラー相談窓口

026-224-7062(平日8:30~17:15)

Ko-fukusi@city.nagano.lg.jp

少子高齢化・核家族化の進行・ひとり親家庭の増加・共働き世帯の増加等ご近所の付き合いが薄れております。声を掛け合い、話し相手になり子どもたちに出来る支援をしていきたいと思っております。



## WEBで再発見！我が区の魅力 知ってましたか、我が区

### ウェブで紹介している各区

当協議会では、オフィシャルウェブサイトを開発しています。そのメニューの1つに「古里地区」があり、各区の紹介をしています。各区のその中の一部をご紹介します。詳細はサイトの各ページをご覧ください。



長野市民病院と収穫間近の水田

### 富竹「緑あふれる田園の里」

東には長野市北部地域の中心医療機関として貢献している「長野市民病院」があります。田園の中に建つ長野市民病院は、最先端医療を備え、さらに令和5年3月には人間ドック等の施設を含む増築改修工事が完了しました。

### 金箱「古里地域の中心地」

北部幹線を、浅川を過ぎて更に東へ進むと東西に細長い金箱地区が立地しています。金箱大橋が完成し、古里小学校前の交差点を中心に南北は県道三才-大豆島線が、東西にはR18(アップルライン)に接続する、金箱-東北中学校線で構成され、地域経済活動の要となっています。2021年3月に北部幹線が開通しましたが、その先線がつくられるまでは、交通渋滞に悩まされそうです。



金箱大橋



漆喰壁の塀と庭木の松

### 下駒沢「塀の里」

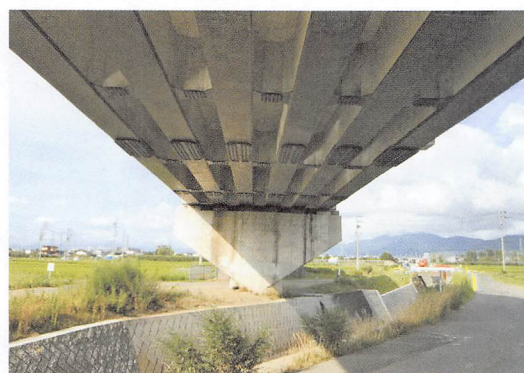
下駒沢区は西の伊勢社より北側の農産神社道路沿い、浅川沿いに広がる地区で工業団地の一部を含む区です。

道路沿いには、塀に囲われた家屋が多く、中には今では見ることが少なくなった土塀を数ヶ所見ることができ、手入れがいきとどいた松を眺めることができます。

### 上駒沢「川、池、鉄道と暮らす」

上駒沢区は、古里地区の旧5村の一つです。本村(もとむら)と新興住宅が混在しています。

いくつかの川のうち、新田川は檀田・稲田・徳間各地区の水田を満たし、その水がやがて上駒沢地区を天井川の姿で流れていました。近年は上流の水田もなくなり、雨が降れば激流となり流れ下ります。令和4年度を最終工期として、駒沢川に先んじて河床を下げ護岸を強化する工事が行われました。



新田川と新幹線の高架



発掘された三才田子遺跡 2015年10月

### 三才「遺跡・古墳の里」

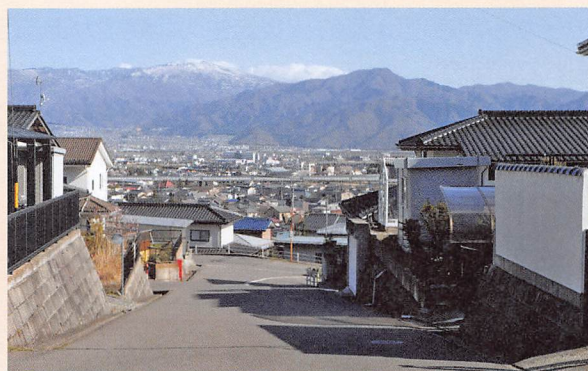
縄文時代～平安時代(約4,300年前～1,000年前)の籠沢遺跡や、三才1号墳・三才2号墳に代表される古墳群など数多くの歴史ロマンあふれる地が三才です。

官道が整備される8世紀ごろには東山道の支道に置かれた駅家(うまや)である「多胡(たこ)駅」も三才にあったと考えられています。三才は、悠久の歴史に触れ合える場所となっています。

### 西三才「坂の町」

三才駅の玄関口は西三才です。平日の朝夕の駅前広場は、通勤・通学の方でにぎわいます。休日には“三歳”になる子供さんのご家族が多く訪れます。

西三才は、とても坂の多い町ですが、南方向を向いた斜面で高台ですので、善光寺平を一望に臨むことができます。



坂の上から長野市民病院方面を望む



駒沢祭祀遺跡

### 駒沢新町「祭祀遺跡」

駒沢新町区の団地は、昭和41年(1966)から造成が始まり、現在に至ります。

区内には「駒沢祭祀遺跡」がしなの鉄道北しなの線の脇にあります。この遺跡は、団地を造成した際に発見されました。五世紀から七世紀までの農耕祭祀の様子を示す遺跡です。

### 駒沢第二団地「アットホーム」

駒沢第二団地は、お隣の駒沢新町団地に続いてできた団地の区です。昭和40～50年代はたくさんの方が住み、たいへん賑わっていました。

現在は、住居を他に移した方が多く寂しくなりましたが、こじんまりとした区となりアットホームな雰囲気が感じられます。



4階建の住宅街

# ゴミ収集事情(家庭ゴミの分別をしっかりと!) 総務部環境整備委員会

長野県は全国トップクラスの1人1日当たりのごみ排出量が少ない県として昨年4月に環境省から公表されました。しかも平成20年代後半からは数年間1位が続いていました。

食品ロスを少しでも減らすため、「残さず食べよう! 30.10運動」が呼び掛けられ「信州発もったいないキャンペーン」が推進され、県民意識が向上した成果と言えるでしょう。

一方で排出されるゴミについて、現在長野市では家庭ゴミを8つに分別するよう推奨されています。(可燃、不燃、ペットボトル、缶、紙、プラスチック、ビン・乾電池、枝草木)決められた曜日、時間帯に出すようになっています。

古里地区には約110か所のゴミステーションがあり、多くの住民がルールを守ってゴミ出しをされている反面、その分別においては未だに徹底されておりません。違反ゴミ袋は回収されず、その場に残されます。ゴミ当番や環境美化係が後処理をしているのが実態です。8月28日(水)には古里内でゴミ収集車から火災が発生し、3年続けて古里地区から起きています。火災発生の危険性があるライター、スプレー缶、リチウムイオン電池が混在していたと見られています。

各世帯に配布済みのゴミカレンダーを今一度チェックし、ルールを守って、住民一体となり分別に取り組んでいきましょう。  
詳しくは→長野市生活環境課 026-224-7635

## ゴミ収集車の火災を防ぐため ルールを守り 正しいゴミ出しを

### 車両火災が発生すると

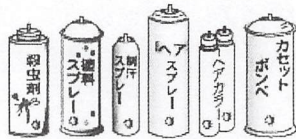
- 集積所は住宅地にあり周辺に延焼する恐れがあります
- 収集作業員や付近を通行する方の人命にも関わります
- 代替車両による対応が必要になるため、ゴミの収集時間も大幅に遅れます



### 主な車両火災の原因 ～ルールを守り正しい排出をお願いします～

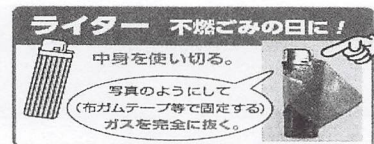
#### スプレー缶・カセットボンベ

- ガスを使い切ってから、火の気のない屋外で穴を開けて【缶】の日にお出しく下さい



#### ライター

- 使い切るかガスを完全に抜いてから【不燃ごみ】としてお出しく下さい



#### 充電式電池 ～リチウムイオン電池・ニッケル水素電池・ニカド電池～

- 電気製品(デジタルカメラ、電動シェーバー、携帯ゲーム機等)に内蔵されている電池で、強い衝撃が加わると発火する可能性があります。
- 廃棄する際は、内蔵されている充電式電池を取り外し、リサイクルマークのついているものは絶縁のうえ【充電式電池回収協力店の回収箱】へ



## 古里住民自治協議会ホームページで最新情報を

古里住民自治協議会の活動情報・古里地区の情報等をご覧ください。

公式Webサイト <https://www.furusato.nagano.jp/>

Check!



スマートフォンはこちらから!